

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第121号								
事故等名	ケミカルタンカー三洋丸乗揚								
発生年月日時刻	平成20年11月13日08時20分ごろ								
発生場所	千葉県千葉港千葉第4区								
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月4日横浜・地方事故調査官が海難報告書を入力し、12月10日及び平成21年1月6日船舶所有者に口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし								
事実情報									
船種・船名・総トン数	ケミカルタンカー 三洋丸 499トン								
船舶番号(IMO 番号)	133999								
船舶所有者等	共同汽船有限会社								
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)								
負傷者	なし								
損傷	船底部ペイント剥離 100cm×100cm								
事故等の経過	本船は、千葉港千葉第3区の丸紅バースにおいて、メタノール950トン積荷後、出港し、千葉港第4区の大日本インキ化学工業(株)千葉工場2の棧橋に向かい、着棧しようとしたときに、平成20年11月13日08時20分ごろ、衝撃を感じた。 機関停止後、船体、機関を調べたが異常はなかったため、そのまま08時30分ごろ着棧した。 その後、12月20日に、ドックで検査した際、船底部にペイント剥離が見つかったが、ほかには損傷がなかった。								
分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">気象・海象の関与</td> <td style="width: 50%;">なし</td> </tr> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td>本船は、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</td> </tr> </table>	気象・海象の関与	なし	乗組員等の関与	あり	船体・機関等の関与	なし	判明した事項の解析	本船は、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。
気象・海象の関与	なし								
乗組員等の関与	あり								
船体・機関等の関与	なし								
判明した事項の解析	本船は、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。								
原因	本事故は、本船が着棧中、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。								
その他の事項	なし								